

第 72 回日本栄養改善学会学術総会 研究自由集会開催報告

テーマ:食環境の好循環を生み出すための新たな取組ー日本、世界の動向について

- 開催日時:令和 7 年9月 12 日(金)17:00~19:00
- 会場:東京農業大学
- 企画:国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所

第 72 回日本栄養改善学会学術総会において、研究自由集会を開催し、25 名が参加しました。

3名による話題提供の後、グループディスカッションを行いました。

グループディスカッションでは、参加者は 4 つのグループ(食品企業(製造)、食品企業(流通)、特定給食施設、行政)に分かれ、健康的で持続可能な食環境づくりに向けて、加工食品の評価をどう活かすことができるかについて議論した後、各グループの議論の内容を共有しました。

栄養プロファイリングモデルは、製品の栄養的健康度を可視化することによって経営者、開発者、消費者への説得が容易になり、教育、調達など幅広い場面で活用可能であることを確認しました。

参加者からは、異なる立場の人が一緒にディスカッションできる機会は非常に貴重であるとの声がありました。引き続き、学会等の場を活用した情報共有、課題共有の場づくりを行っていきたいと考えています。

(話題提供)

- ◇ 瀧本秀美(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 所長)
日本版栄養プロファイリングモデルについて
- ◇ 西尾素子(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 研究企画進室 室長)
グローバルリサーチコミュニケーションプロジェクトについて
- ◇ 芳我真倫(三菱 UFJ 銀行 営業本部 ケミカル・ウェルビーイング部 次長)
食と栄養のルールメイクに関する考察と MUFG の取組み

